

威嚇警報オプションの取り付け

車載ホーンへの配線方法(選択)

スキャニングLED(別売)の取り付け

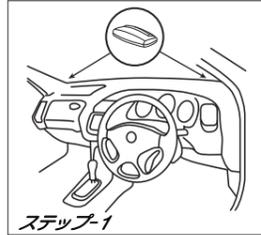
超高輝度LEDにてスキャニング点滅を行い、威嚇効果を更に発揮します。

ステップ1 スキャニングLEDを取り付けします。

警告 運転の妨げになる場所やエアバッグの動作を妨げる場所には、取り付けしないでください。事故の原因となります。

注意 ダッシュボード上の中央部に取り付けしないでください。熱により変形し、故障の原因となります。

LEDの動作が、外部からよく見える場所に取り付けます。取り付ける際は、取り付け位置の汚れや油分をきれいに拭き取ってから、付属の両面テープで確実に固定してください。

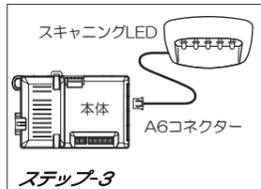


ステップ1

ステップ2 本体のスキャニングLEDハーネス差込口(A6)のリッドを外します。

注意 ・スキャニングLEDを取り付ける場合を除き、リッドは外さないでください。本体内部に異物が入り、故障の原因となります。
・リッドを外す際は、ケガのないよう充分注意して行ってください。

【リッドの外し方】
リッド
マイナスドライバー
マイナスドライバーを下側ケースのすき間に差し込み、上側ケースのリッドを割り、コネクタが見えるようにしてください。



ステップ3

ステップ3 本体へ接続します。

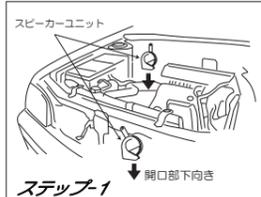
本体のスキャニングLEDハーネス差込口(A6)へスキャニングLEDのコネクタを差し込みます。

ボイスモジュール(別売)の取り付け

音声と電子音にて警報を行い、ボイス(日本語/英語)による威嚇効果を更に発揮します。

ステップ1 ボイスモジュールを取り付けします。

ボイスモジュールの取付・取扱説明書にしたがって、取り付けしてください。

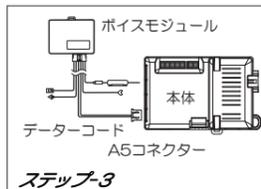


ステップ1

ステップ2 本体のボイスモジュールハーネス差込口(A5)のリッドを外します。

注意 ・ボイスモジュールを取り付ける場合を除き、リッドは外さないでください。本体内部に異物が入り、故障の原因となります。
・リッドを外す際は、ケガのないよう充分注意して行ってください。

【リッドの外し方】
リッド
マイナスドライバー
マイナスドライバーを下側ケースのすき間に差し込み、上側ケースのリッドを割り、コネクタが見えるようにしてください。



ステップ3

ステップ3 本体へ接続します。

本体のボイスモジュールハーネス差込口(A5)へボイスモジュールデータコードのコネクタを差し込みます。

ボイスモジュールの発声について

ボイスモジュール取付・取扱説明書の「収録音声一覧」に対して、下記の音声を発声しませんので、ご承知置きください。

- ①半ドア検知時の警告
- ②乗り逃げ防止

この配線を行うことにより、サイレンの代わりに車載ホーンにて警報を行い、威嚇効果を更に発揮します。

配線をする前に

- 下記のような車では、ホーン警報できません。付属のサイレンを使用してください。
・エンジンキーを抜いた状態でステアリングのホーンスイッチを押したとき、ホーンが鳴らない車。
・ON時間が0.25秒以下で、ホーンが鳴らない車。
- 車載ホーンへ接続する際には、別途ホーンリレーが必要です。(当社のリレー RC-2217およびヒューズを別途お買い求めください。)

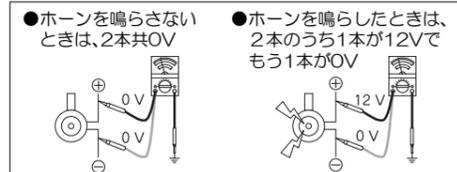
ステップ1 車載ホーンのスイッチ方式を確認します。下記を参考に車載ホーンの「スイッチ方式」を確認してください。

(A) 車のホーン1個に対し、端子が1つの場合: プラススイッチ方式です。



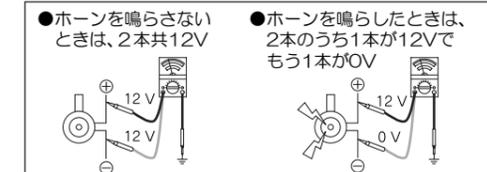
(B) 車のホーン1個に対し、端子が2つの場合
ホーンの配線にテスターを当てて特性を確認し、下図にてスイッチ方式を確認してください。

プラススイッチ方式



注意 ホーンが2つある車の場合、どちらか1つで上記の確認をしてください。

マイナススイッチ方式



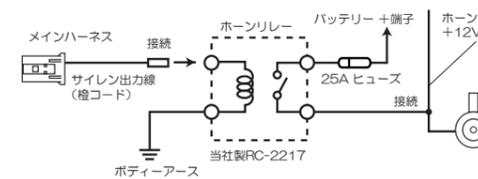
注意 ホーンが2つある車の場合、どちらか1つで上記の確認をしてください。

ステップ2 ホーンのスイッチ方式にしたがって、配線をします。

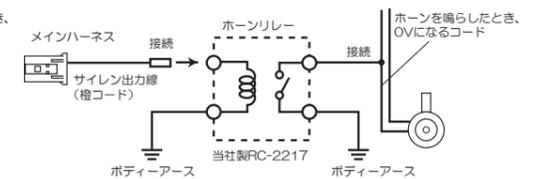
ホーンが2つある場合、どちらか1個のホーンのみに配線してください。

注意 ・塗装されている金属部分や車の振動等で緩んでしまう場所に接続しないでください。動作不良の原因となります。
・配線する際は、必ずリレーを使用してください。故障の原因となります。
・リレーとホーンを接続する際は、ホーンに接続されているハーネスの線径以上のリード線を使用してください。

プラススイッチ方式の配線方法

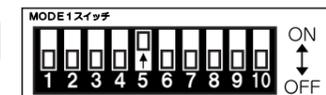


マイナススイッチ方式の配線方法



ステップ3 本体のMODE1スイッチメニューの5「車載ホーン配線」をONにします。

注意 車載ホーン配線を行った場合は、必ず本体のMODE1スイッチメニューの5「車載ホーン配線」をONにしてください。車載ホーン故障の原因となります。



ステップ4 配線したハーネス類を整理します。

警告 ・ハーネス類等は、ステアリングシャフトやペダル類の可動部付近には固定しないでください。運転操作の妨げになり、事故の原因となります。
・配線したハーネス類は、車両の高温になる場所(エンジン・ラジエーター等)の近くに固定しないでください。断線やショートし、火災・故障の原因となります。
・配線したハーネス類は、ビニールテープや結束バンド等で確実に固定してください。また車のカバーや内張り等で配線類が挟み込まれたりすると、断線やショートし、火災・故障の原因となります。

これまでに配線したハーネス類をビニールテープや結束バンド等を使用して、確実に固定してください。